

## メディア掲載情報： 毎日新聞朝刊 平成 28 年 1 月 15 日付

平成 28 年 1 月 15 日付、毎日新聞朝刊の「くらしナビ、気象・防災」のページの“ひまわり EYE”シリーズに、当センターの入江仁士准教授署名記事が、「ひまわり 8 号」画像とともに掲載されました。下記、記事（web 版）をご参照ください。

ひまわり EYE  
今年の元日、視界良好

毎日新聞 2016年1月15日 東京朝刊

オピニオン > コラム > 気象・地震 > すべて表示する

ひまわり 8 号が撮影した (右) 2015 年 10 月 24 日と、(左) 16 年 1 月 1 日午前 11 時半の日本上空の様子

今日は富士山が見えるだろうか。こんな期待を持ちつつ、私は気象観測作業のため研究棟の屋上へ行く。ここは富士山から 130 キロ離れた千葉大。冬は視程が良く、雪化粧した富士山を観測できることもしばしばある。

視程が下がる要因は、大気中に浮遊する微粒子、いわゆるエアロソルである。エアロソルには黄砂など自然起源のものもあれば、自動車の排気などから発生する人間活動起源のものもある。エアロソルは私たちの健康に悪影響を与えるばかりか、冷却化や温暖化など気候変動も左右する重要な因子でもある。

私たちは、このエアロソルの気候変動への関与を調べるため、エアロソルなどの連続観測を世界各地で実施している。「スカイネット (SKYNET)」と呼ぶこの国際地上観測ネットワークの中核サイトが千葉大である。千葉サイトで長期のデータを解析すると、ここ数年、エアロソル量が減っている傾向がみられる。日本の大気汚染レベルが改善されていることを裏付けるものである。

さらに年末年始は産業活動がほぼ休止するため、通常より大気はきれいになる。今年の元日は各地で青空が広がった。エアロソルの観測もできるひまわり 8 号の画像を眺めながら、どれぐらい多くの人が雪化粧した富士山を見て新年を迎えているかと思いをはせた。(入江仁士・千葉大准教授)

### 千葉大 SKYNET 観測網と観測装置 (CEReS 資料より)



上：SKYNET における放射観測装置群  
左：SKYNET 観測網（千葉、福江島、沖縄辺戸岬、宮古島、中国合肥、タイ、ピマイ他）

(平成 28 年 1 月 15 日付毎日新聞朝刊より)

※上記シリーズは、情報通信研究機構 (NICT) と CEReS の共同企画・監修のもと、平成 27 年 10 月の下半期より、毎週金曜日毎日新聞朝刊に掲載されております。

第 1 回からの画像は、NICT サイエンスクラウド [“ひまわり EYE” のページ](#) よりご覧いただけます。

SKYNET に関するお問い合わせ

千葉大学環境リモートセンシング研究センター：入江

TEL：043-290-3876

mail：hitoshi.irie@chiba-u.jp

http://atmos2.cr.chiba-u.jp/skynet/

ひまわり 8 号データに関するお問い合わせ

千葉大学環境リモートセンシング研究センター：樋口

TEL：043-290-3870

mail：webmaster@ceres.cr.chiba-u.ac.jp

http://www.cr.chiba-u.jp/~database-jp/wiki/wiki.cgi